

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.220
2022.6.30

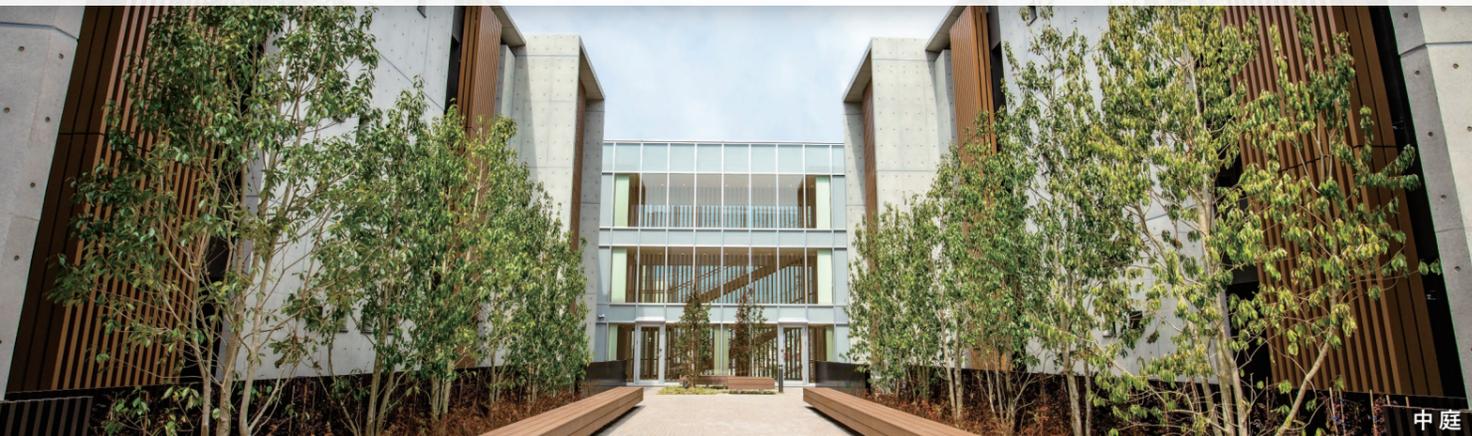
特集

ヤンセン国際寮開寮

南山大学「人間の尊厳賞」
第1回受賞者決定



NANZAN
UNIVERSITY



中庭

南山学園の設立母体・神言修道会の創立者である聖アーノルド・ヤンセン司祭の名前を冠した国際学生宿舎が2022年4月に開寮しました。



外観



居室

概要

所在地
南山大学キャンパス隣接
(昭和区八雲町138番1)

室数
地上4階建て178室
(うち2室は車いす利用可能なユニバーサル寮室)

宿舍費
月額60,000円(光熱水費、Wi-Fi代込)
※別途教育プログラム費1,000円/月が必要

備考
隣り合う2つのグループでシャワールーム、トイレを共有。宿舎内はエリアごとに男女の居住スペースが分かれており、電子キーで入退室を管理。管理人24時間常駐。



共有キッチン



共有リビング



JANSSEN
INTERNATIONAL RESIDENCE
南山大学ヤンセン国際寮

学生主体の運営

寮生の半数が1年生ということもあり、4月から快適な寮生活が送れるよう、10月からの半年間、15名の学生スタッフ(レジデントデザイナー)が準備を重ねてきました。開寮後も21名の学生スタッフ(5名のレジデントリーダーと16名のリビングコーディネーター)が中心となり、広報、講座やイベントの準備、入居者からの相談やトラブル対応など学生主体で運営しています。



▲自主的に打ち合わせをするレジデントリーダー

オープニングセレモニー

3月23日、オープニングセレモニーを実施しました。カトリック神言修道会日本管区長代理 リチャード・ジップル神父、ロバート・キサラ学長、レジデントデザイナーの藤澤咲季さん(国際教養学部4年)によるテープカットが行われました。



レジデントデザイナーの声



市川 希香さん(法学部3年)

コロナ禍において様々な活動が制限される中で、「新しいことに挑戦したい!」と思い、レジデントデザイナーに応募しました。国際交流に興味があったのはもちろんですが、今までやったことのない「新しいプロジェクトを一から立ち上げる」という経験に魅力を感じました。

私は「イベントチーム」に所属していたのですが、「南山大学ヤンセン国際寮でイベントをやりたい!」と思ったから、どう動けばいいのか、ルールや手順を決めるところから始めました。「枠組みを一から作る」ということはチーム全員が初めての経験であり、意見がまとまらないことも多々ありましたが、多数決はせず、議論を誠実に進めるようにしました。

今後の目標は、「入居者全員を成長させる寮をつくる」ことです。レジデントリーダーとして、今はまだ生活上のトラブル解決に注力していますが、今後は入居者全員が何らかの能力を高められるような手助けをしていきたいです。

教育プログラム

全入居者を対象に「ダイバーシティ&インクルージョン実践力養成プログラム」と呼ばれる教育プログラムを実施しています。教育プログラムとキャンパスでの学びを宿舎の中で実践しながら、国境を越えて活躍できる人材として必要な力を身につけることができます。

4月に入り、入居学生たちは「Livingガイドンス」で各リビンググループの暮らしに関するルール決めを行い、Socializingイベント「Welcome to Janssen」で親睦を深めるなどして共同生活のスタートを切りました。また、「教育プログラムキックオフ」で寮生活における目標と達成するためのアクションを検討し、「多文化コミュニケーションワークショップ」では、合意形成のゲームを体験しながら、入居者の多様性やコミュニケーションの複雑さ、そして必要なスキルについて学びを深めました。

これからの活動

渡航制限のため、まだ海外協定校からの留学生の受け入れができず、日本人学生が中心に暮らしていますが、現在の生活の中でも、教育プログラムで学び、自分たちの中にある多様性や文化の違いを体感しながら、留学生を迎え入れる準備をしています。

また、入居者以外の南山大学生も参加できるクリティカルシンキング講座が7月13日(水)に開催されます。社会でも役立つ「リーダーシップ」を発揮していくために必要なクリティカルシンキング(批判的に考える力)を実践的に学ぶ講座です。



▲対面とオンラインで教育プログラムに参加する学生(共有キッチンで勉強やミーティングに使用するなど、コロナ対策をしながら工夫をして生活しています)

「人間の尊厳賞」 第1回受賞者決定

南山大学は、2021年に前身の南山外国語専門学校(旧制)創設から75年の記念の年を迎え、創立75周年記念行事を行ってきました。その一つの事業として、教育モットー「Hominis Dignitati-人間の尊厳のために」を冠して創設された南山大学「人間の尊厳賞」。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえのない存在として様々な活動に取り組む個人または団体・組織から、毎年、1名または1組織を表彰するものです。受賞者は、学内選考を経て、学長および学外有識者からなる選考委員会にて決定しました。

■ 受賞理由

幼くして全盲となられた青木氏は、大学卒業後、米国に留学し、そこで障害のある中国人留学生の少なさに気づいたことから、中国・天津市に視覚障害者日本語学校を創設し、長期にわたり視覚障害者の日本語教育を行ってきました。障害者の自立と国際交流の深化への貢献および人々を勇気づける同氏の活動は、本賞の求める普遍性、多様性、困難性、独自性、継続性のすべてを実践するものです。

青木陽子 氏



撮影:菊地正志

■ Profile

1961年埼玉県浦和市生まれ。6歳の時、予防接種後の高熱で失明。筑波大学附属盲学校高等部を経て、87年、南山大学文学部教育学科卒業。米国・ニューヨーク州立大学バッファロー校修士課程修了、教育学修士。93年、中国・天津外国語学院に語学留学。94年、天津で中国初の無料日本語学校(天津視覚障害者日本語訓練学校)設立。同年、アジア視覚障害者教育協会設立。海河賞、友誼賞、外務大臣表彰など、国内外で多数の受賞歴があります。

5.26 表彰式&記念講演会を開催しました。

表彰式と記念講演会については221号(2022年9月発行)でご案内します。



人間の尊厳のために
HOMINIS DIGNITATI

2022.3.18

2021年度学生部長表彰式

3月18日、2021年度学生部長表彰式をフラッテンホールで開催しました。学生部長表彰は、個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績を取めたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたときに授与されます。

2021年度は、個人17名と6団体に賞が授与されました。



▲豊島明子学生部長(当時)より表彰状が授与されました

2022.3.21

2021年度卒業式

3月21日、2021年度卒業式を行い、2,205名(学部生2,152名、大学院生53名)の卒業生を送り出しました。

昨年同様、今年も新型コロナウイルス感染症対策のため会場を分散し、マスク着用・手指消毒を徹底した中で実施しました。

式典では本学らしく、「卒業感謝の祈り」として司祭による聖書朗読、各学部の代表学生による共同祈願などとともに学位記授与式が行われ、会場は厳粛な雰囲気になりました。

当日はインターネット(YouTube Live)で卒業式の模様を同時中継しました。



2022.3.23

南山チャレンジプロジェクト活動報告会

3月23日、2021年度南山チャレンジプロジェクト活動報告会を実施しました。「南山チャレンジプロジェクト」は学生による学内を活性化する企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。

採択された以下の5団体が、1年の活動を振り返り、実施した企画やコロナ禍の中で活動することが難しい状況で、どのように工夫してきたかなどを発表しました。

・チャレンジ企画型:

Johnan Meets、One Step、虹のシーアネモネ、南山大学石器研究グループ

・産学連携企画型:

家田製菓との産学連携グループ



▲報告会で発表をするJohnan Meetsの学生

2022.3.30

南山大学創立75周年記念感謝ミサ@NANZAN

3月30日に南山大学創立75周年記念感謝ミサ@NANZANを神言神学院大聖堂で開催しました。本学創立75周年という特別な年の締めくくりに感謝のミサをささげました。

司式:

ロバート・キサラ神父
(南山大学長)

マンガ・ステファヌス神父
(南山大学キリスト教センター長)

ヤコブ・ライチャーニ神父
(南山大学創立75周年プロジェクト実行委員会委員長)

(左から)マンガ神父、キサラ神父、
ライチャーニ神父▶



2022.3.31-2022.4.4

フレッシュマン祭

3月31日から4月4日までの4日間、フレッシュマン祭を開催しました。

新入生向けにクラブ・サークル紹介をするため、今年は約85団体がキャンパス内でチラシの配布やブース相談、教室やフラッテンホール、体育館、グリーンエリア等でのイベントを実施しました。



▲メインストリートでチラシを配布し、勧誘するラクロス部の学生

2022.4.1

2022年度入学式

4月1日、2022年度入学式を行い、2,424名(学部生2,347名、大学院生77名)の入学者を迎えました。

ロバート・キサラ学長は告辞において、「これからの4年間の在学期間中、地球規模の関心を深め、自分独自の貢献、自分であるからこそできる貢献を見出してください。」とメッセージを贈りました。

当日はインターネット(YouTube Live)で入学式の模様を同時中継しました。



図書館 リニューアル工事

News

ブレティン218号でも紹介しましたが、「である」「つながる」「かわる」特別な場所、地の塩、世の光としてプレゼンス(存在感)を発揮する「ライネルス中央図書館」へと生まれ変わるべく、図書館のリニューアル工事を行っています。

足場を組み、シートで覆われていますが、リニューアル工事中も図書館は利用可能です。また、図書等資料は移設されているものもありますが、すべて閲覧可能です。みなさまのご来館をお待ちしております。



南山大学創立75周年記念募金のお願い

75周年を記念し、南山学園創設者であるヨゼフ・ライネルス師の名を冠した「ライネルス中央図書館構想」として実施している図書館リニューアル事業に対する支援として、引き続き皆様からの募金のご支援をお待ちいたしております。寄附者の皆さまのご厚意に感謝の気持ちを込めて、寄附特典もご用意しております。どうぞ趣旨にご理解いただき、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは南山大学公式Webページでご確認ください。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/bokin/75th/>
お問い合わせ先:
南山大学広報・募金課 052-832-3113



経営学部安藤ゼミの学生が、 第2回産学連携ビジネスコンペティションで入賞

12月11日、株式会社VSN主催の第2回産学連携ビジネスコンペティションで経営学部3年(受賞時)安藤ゼミのチーム(チームへべれけ:小澤光毅さん、渡邊基仁さん、渡辺真弥さん)が3位に入賞しました。

本ビジネスコンペティションでは、「私たちを取り巻く『環境問題』専門性×環境問題でイノベーションを起こ

す」をテーマに、9大学32チームから学生計144名がビジネスモデルを企画しました。

チームへべれけは、「ハニカムLab ~企業も地域も活性化~」をテーマに、地域活性化と社内の風通しのよさを同時に実現しようとする提案をしました。

3位入賞したチームへべれけの皆さん▶



社会科学部研究科の学生が、キャンパスベンチャーグランプリ 第19回中部大会で中部経済産業局長賞を受賞

12月26日、日刊工業新聞社主催の学生ビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ 第19回中部大会」で社会科学部研究科経営学専攻1年(受賞時)菜切翔さんが中部経済産業局長賞を受賞しました。

菜切さんは、「地域応援ファンディング『あいちあい』」をテーマに、若者が愛知県で起業しやすい環境を整えることを目指したサービスを提案しました。

受賞した菜切翔さん▶



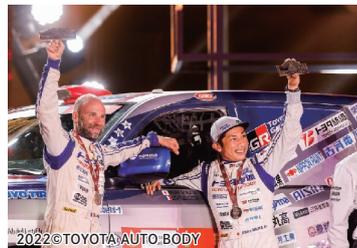
卒業生が「ダカールラリー2022」で2年連続優勝

1月2日から14日(現地時間)にサウジアラビアで開催された自動車競技「ダカールラリー2022」の市販車部門において、法学部法律学科の卒業生でトヨタ車体株式会社社員ドライバーの三浦昂さんが2年連続優勝しました。

複数の車両が転倒やパンクに見舞われましたが、ト

ヨタ車体株式会社から参戦したラリーチーム2台が市販車部門ワン・ツーフィニッシュでゴールし、チームとして9連覇を達成しました。

「ダカールラリー2022」(市販車部門)で2年連続優勝した卒業生の三浦昂さん(写真右)▶



経営学部川北ゼミの学生が、 東三河ビジネスプランコンテストで優秀賞、特別賞を受賞

株式会社サイエンス・クリエイト主催の「第21回東三河ビジネスプランコンテスト」で、経営学部3年(受賞時)川北ゼミの2チームが、応募総数138件の中から、アイデア部門にて、優秀賞と特別賞を受賞しました。

優秀賞を受賞したデポジット川北チームは、現在大量

に廃棄されているプラスチック容器を削減するためにデポジット制度の導入を提案し、特別賞を受賞したみかんバターチームは、豊橋の地域名産品である伊良湖みかん、同地区にて地産地消を掲げ展開する中央製乳株式会社様の牛乳を使用した新製品を開発しました。



▲受賞した川北ゼミのみなさん

経営学部窪田ゼミの学生が、 ウルドッグス名古屋の新グッズ3種類を考案、発売

経営学部窪田ゼミの学生が、産学連携により、V.LEAGUE DIVISION1 MENバレーボールチーム・ウルドッグス名古屋のオフィシャルグッズ3種類を商品開発しました。

新グッズは、選手別のアクリルスタンド、エンブレムキーホルダー、パスケースです。4月初旬のホームゲームでは、実際に考案した学生たちもグッズ売り場に立ち、来場者の方々に販売活動を行いました。

店頭販売の様子▶



「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」授与式

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジアからの外国人留学生に対し給付する奨学金です。母国を離れて日々懸命に学ぶ外国人留学生の学業達成を援助し、留学生の母国と日本との友好・親善に貢献する

有為の人材を育成することを目的とし、2022年度に創設し、4月13日、授与式を開催しました。

今年度採用された学生は授与式で、「いただいた奨学金はフィールドワークなどに活用し、年度末の報告会で成果を発表したいと思います。」と話していました。

授与式での様子▶





南山大学は **ジブリパーク** のオフィシャルパートナーです。

南山大学は、2022年11月開園予定のジブリパークのオフィシャルパートナーになりました。

ジブリパークは、「自然の叡智」「人、いきもの、地球に対する愛」を理念に、地球規模の課題の解決の方向性と人類の生き方の発信を目的として開催された「愛・地球博」の精神を継承する構想が立てられています。その方針が、本学の理念や取り組み内容と一致することから、今後、ジブリパークとのパートナーシップを基にしたさまざまな

取り組みを通じて、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

このことについて、YouTubeにてキサラ学長のメッセージを公開中です。ぜひご覧ください。



こちらから、YouTubeをご覧ください▲



©Studio Ghibli



キャリア支援課 プログラム紹介

キャリア支援課では毎年多彩なプログラムを実施しています。「キャリアサポートプログラム」は、特に低年次生の参加を推奨していますが、すべての学年の方が参加可能です。また、学部3年次生と大学院修士1年次生向けには、「就職支援プログラム」を実施します。学生の皆さんは、積極的に参加してください。

キャリアサポートプログラム

学部・学科別学び方講座(1年次生対象)

4月から5月にかけて、新入生対象の「学び方講座」を実施しました。各学科の教員から大学での授業の進め方や卒業後の進路などの説明をうけ、学生は自らの大学生活での具体的な目標や課題設定を行いました。

希望進路別ガイダンス

【就職(民間)、就職(公務)、進学(文系)、進学(理系)】

4月から5月にかけて、1・2年次生を対象に希望進路の実現に向けて大学生活をどう過ごすかを考えるための講座を実施しました。4回に分けて行われた「希望進路別ガイダンス」では、南山大生の進路実績や南山大学の支援体制のほか、学内外の講師を招き、幅広い情報提供を行いました。

インターンシップサポート

【学内インターンシップ企業研究会】

6月にかけて、上場企業や人気企業を中心に約40社が南山生のみを対象として集結し、インターンシップのための企業研究ができる説明会を実施しました。

卒業生に聞いてみよう!

9月・10月には、各界で活躍する卒業生をお招きし、社会人としてのやりがいや生きがい・学生時代の体験等を伺う講座を実施します。

★第3クォーターには、実践・体験プログラムで自らの適性・強み・弱点を知る「テーマ別ワークショップ」や、業界・職種について理解を深める「業界・職種研究会」など多彩なプログラムを予定しています。

就職支援プログラム (主に学部3年次生・修士1年次生対象)

4月から就職ガイダンスを実施し、就職活動への心構えや就職支援プログラムのスケジュール等を確認しました。今後は講座やワークショップ等で、インターンシップや本選考に向けて具体的な準備を進めていきます。キャリア支援課では、事前予約制で個別面談を実施していますので、学生の皆さんはぜひ活用してください。

【9・10月の予定】 行事の詳細および11月以降の予定はWebページまたはPORTALに掲載します。

プログラム名	文系	プログラム名	理系
第2回就職ガイダンス*	9月21日(水) 28日(水)	第2回就職ガイダンス*	9月28日(水)
就職対策講座1 【自己理解・自己PR】	10月5日(水)	就職対策講座1 【志望動機・ESの書き方】	10月5日(水)
就職対策講座2 【業界・企業研究】	10月12日(水)	就職対策講座2 【自己理解・自己PR】	10月12日(水)
就職対策講座3 【志望動機・ESの書き方】	10月19日(水)	就職対策講座3 【業界職種研究・志望動機】	10月19日(水)
就職対策講座4 【筆記試験対策】	10月26日(水)	就職対策講座4 【筆記試験対策】	10月26日(水)

※学部により実施日が異なります。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>



卒業後の進路が決まった学生の皆さんへお願い

「進路届」の提出および、「就職活動体験記」へのご協力をお願いいたします。「進路届」は進路が決まった時点で、全員提出が必要です。また、体験記は後輩の皆さんにとって何物にも代えがたい貴重な資料となりますので、ぜひご協力ください。

「進路届」は、キャリア支援課(Q棟2階)窓口もしくはPORTALアンケートにてご回答ください。また「就職活動体験記」作成要領およびフォーマットは下記Webページからダウンロードできます。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/news/009291.html>



私の研究



小林 佳世子(こばやし かよこ)
経済学部 経済学科 准教授
専攻分野: 行動経済学、応用ゲーム理論
研究テーマ: 進化の視点でみたヒトの認知と意思決定
主な担当科目: 情報経済学A・B、法と経済学、外書講読、ミクロ経済学

だったり、噂話(ゴシップ)に敏感だったりといったこともみな、ヒトのもつ認知のクセの1つです。

こうした多数の「クセ」は、進化の視点からみること、驚くほど興味深い側面がみえてきます。こうした考え方をまとめた、『最後通牒ゲームの謎: 進化心理学からみた行動ゲーム理論』という書籍を、昨年出版しました。そこでは、いわゆる「合理性」と「不合理性」の両者を、「進化の中の適応」という視点からみることによって統一的に扱えることを示し、それを「適応合理性」と呼びました。本書は、2021年度(第64回)日経・経済図書文化賞を受賞しています。



▲刊行した書籍の表紙 ▲副賞の盾とともに

進化の視点でみたヒトの認知と意思決定

私の専門は、「経済学」ということになっています。応用ゲーム理論がもともと専門で、「ヒトが幸せに生きていける社会の仕組み」に興味がありました。

ヒトが幸せに生きていける社会の仕組みを本気で考えるためには、「ヒトの意思決定」の仕組みを深く知る必要があります。ヒトの意思決定の「クセ」を前提とした、社会の仕組みを考える必要があるからです。そこで、経済学のみならず、心理学、生物学、認知科学、文化人類学、考古学、動物行動学、脳神経科学など、様々な学問分野の知見を取り入れ、「進化」の視点からみたヒトの認知の傾向を考えるのが今の私の研究です。

多数の実験から、ヒトには、様々な認知のクセ(認知バイアス)があることが明らかになっています。「ズルい」ことが嫌

私のクラス



箆橋 一輝(かほはし かずき)
国際教養学部 国際教養学科 准教授
専攻分野: 環境経済学、地球環境学
研究テーマ: 持続可能な発展論、環境ガバナンス、主観的幸福
主な担当科目: サステナビリティ・スタディーズ概論、サステナビリティと社会システム、サステナビリティと経済システム、グローバル化と社会、PBL演習など

サステナビリティ思考を身につける

私は主に、サステナビリティ・スタディーズに関連する学部科目を担当しています。私のクラスでは、サステナビリティを本気で考えるための基礎体力をつけてもらうことを目指しています。

私が講義や演習の中で大切にしているのが、複眼的な視点で物事を考えることです。サステナビリティ・スタディーズでは、「経済」「社会」「環境(生態系)」という3つの異なるシステムをいかに調和させるかを重視します。例えば、経済成長だけを追い求めるのではなく、社会の格差や不平等を緩和し、エネルギーなどの環境負荷を低減させる社会を実現するにはどうしたら良いか。人間の暮らし向きだけではなく、人間以外の生物や環境も含めて全体の福利を向上させるにはどうしたら良いか。自分と異なる他者

をどのように理解・受容し、過去から現在、未来に向かってどのような関係を築いていけばよいか。こうしたことを粘り強く問い続け、社会科学と人文科学、自然科学を学際的に渡り歩く素養が、いま求められています。

私はこうした素養を「サステナビリティ思考」と呼んでいます。最近SDGs(持続可能な開発目標)という言葉をよく耳にするようになりましたが、学生にはその表面的な理解だけで満足して欲しくありません。一人でも多くの学生が「生きた教養」としてのサステナビリティ思考を身につけて、未来を切り拓いていってくださることを願っています。



▲授業の様子(中央: 箆橋准教授)

Special Events Schedule

2022.7.1-2022.7.3

第63回上南戦

7月1日(金)から7月3日(日)の3日間にわたり、第63回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を南山大学で開催する予定です。今年のスローガンは“Revival”です。新型コロナウイルス感染症のため2年連続不開催でしたが、上南戦を完全復活させようという強い想いが込められています。ぜひ応援をよろしく申し上げます。



体育会キャラクター「ライナンくん」▲
※2022年にデザインをリニューアルしました

2022.7.12

南山ゆかたフェス

7月12日(火)に、第6回南山ゆかたフェスを開催する予定です。南山ゆかたフェスは、ゆかたを着ることによって日本文化に親しんでもらうことや、学内に交流の場を増やすことを目的とした参加型のイベントです。浴衣の販売や無料着付けだけではなく、縁日企画も予定しています。ぜひご参加ください。

ゆかたを着て、いつもと違う雰囲気での授業を受けたいませんか。

2022.7.16-2022.7.17

オープンキャンパス

今年は感染症対策を講じたうえで、7月16日(土)、17日(日)に大学開催型を、8月1日(月)にオンライン開催型を予定しています。オープンキャンパス当日は模擬授業や相談コーナー、在学生によるキャンパスツアー等の企画を用意しています。ぜひご参加ください。

オープンキャンパスへの参加は申込制となります。詳細は大学Webページ「受験生の皆様」をご確認ください。



<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/opencampus/>

2022.9.24

保護者の集い

9月24日(土)に、保護者の集いを開催します。学部生保護者の皆様に対し、本学における教育・研究をはじめ、留学や就職支援に関する取り組みについてご説明させていただく機会となっております。

※詳細は9月上旬に保証人様宛に送付する案内文書でご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容を変更、または中止とする場合があります。

海外からのご来訪



2022.2.22

2月22日、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事マルティン・エバーツ氏が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。キサラ学長はエバーツ総領事の来訪を歓迎するとともに、本学とドイツのつながりや教育交流について意見交換を行い、エバーツ総領事からは本学の教育への深い理解をお示しいただきました。

その後、エバーツ総領事は南山大学のレーモンド建築を見学され、本学ドイツ学科の教員と懇談しました。



▲(左)マルティン・エバーツ氏、(右)キサラ学長
※写真撮影時のみマスクを外しました

2021年度 学長表彰

卒業予定者のうち品行方正で、学業あるいは課外活動で特に優れた成績を修めた学生、または特に顕著な善行が在学中継続した学生30名に、その努力と栄誉を称え、学長から表彰盾を授与しました。

【人文学部】	7名	【法学部】	3名
【外国語学部】	6名	【総合政策学部】	3名
【経済学部】	3名	【理工学部】	3名
【経営学部】	3名	【国際教養学部】	2名

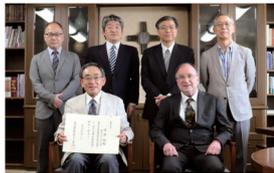
名誉教授称号授与

次の4名の教授に対しその功績を称え、2022年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。

- 外国語学部
蔡毅教授
- 法務研究科(法学研究科併任)
丸山雅夫教授
- 国際教養学部
斎藤衛教授
後藤邦夫教授



▲(前列左)丸山雅夫教授、
(前列右)蔡毅教授



▲(前列左)斎藤衛教授



▲(左から2番目)後藤邦夫教授

寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

根本真弓様 富田裕三様 尾関孝彦様
 富永晶雄様 横山輝雄様
 宮地貴広様 荒木佳資様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

松浦好紀様 三機工業株式会社中部支社
 青山寿様 常務執行役員・支社長 朝倉和昭様
 株式会社極東精機
 代表取締役 北野毅様
 物質文化研究会様
 宗教法人カトリック神言修道会様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

武田ミエ子様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

富永晶雄様 富田裕三様 匿名ご希望者
 石黒泰成様 藤谷龍美様 1名様

株式会社大林組名古屋支店様
 株式会社山田商会様
 南山大学イブ・ハツ工留学生同窓会様

「南山宗教文化研究所の研究員奨励基金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者 2名様

本学名誉教授 高橋覚二氏のご逝去

本学名誉教授の高橋覚二氏(78歳)が、2022年4月27日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

学位

小原 将照 教授
 法学部
 博士(法学)
 青山学院大学
 2021年3月6日付

伊東 留美 准教授
 人文学部
 博士(Doctor of Philosophy)
 Lesley University
 2021年5月22日付

ELMETAHER, Hosam 語学講師(L.I.)
 外国語教育センター
 博士(学術)
 広島大学
 2022年3月28日付

退職

2022年3月31日付

●外国語学部
 教授 浅野 享三
 SHILLAW, John
 教授 CARDENAS, Abel
 教授 蔡毅
 講師 千葉裕太
 講師 小倉康寛
 講師 水守亜季
 講師 PETERSEN, Esben

●経営学部
 教授 白木 俊彦
 教授 澤井 実

●理工学部
 准教授 野田 聡人

●国際教養学部
 教授 斎藤 衛
 教授 後藤 邦夫
 准教授 中村 督

●法務研究科
 教授 丸山 雅夫
 教授 久世 表士

●外国語教育センター
 語学講師(L.I.) LOTT, Danielle
 語学講師(L.I.) 虞 萍
 語学講師(L.I.) 梶浦直子
 語学講師(L.I.) LANDEROS NERI, Sergio Gustavo
 語学講師(L.I.) BAILDON, Martin
 語学講師(L.I.) FILER, Benjamin

●研究所

教授 渡邊 学

新任教員紹介

2022年4月1日付

●人文学部
 准教授 和泉 悠
 (専攻分野:言語哲学、意味論)
 講師 南 翔一郎
 (専攻分野:宗教哲学、キリスト教)

●外国語学部
 教授 RYAN, Anthony
 (専攻分野:英語教育、応用言語学)
 准教授 LÓPEZ RODRIGUEZ, Francisco Javier
 (専攻分野:教育学、カルチュラルスタディーズ、スペイン語教育)

准教授 鈴木 史己
 (専攻分野:中国語学)

講師 麻生 陽子
 (専攻分野:ドイツ語学)

●経営学部
 准教授 余合 淳
 (専攻分野:人的資源管理論、組織行動論)

●法学部
 准教授 橋本 広大
 (専攻分野:刑法)

准教授 本部 勝大
 (専攻分野:租税法)

●理工学部
 教授 井上 克郎
 (専攻分野:計算機科学、ソフトウェア工学)

教授 杉本 謙二
 (専攻分野:制御理論)

●国際教養学部
 講師 林 慎将
 (専攻分野:言語学)

講師 林 徳仁
 (専攻分野:国際社会学、移民研究、多文化社会論)

●法務研究科
 教授 久志 本修一
 (専攻分野:民事法)

教授 大山 徹
 (専攻分野:刑法学、経済刑法学)

教授 杉浦 徳宏
 (専攻分野:民事裁判、民事法、行政救済法)

●外国語教育センター
 語学講師(L.I.) TROY, Henry
 (専攻分野:応用言語学)

語学講師(L.I.) 加藤 尚子
 (専攻分野:英語教育)

語学講師(L.I.) DAVANZO, Christopher
 (専攻分野:英語教育)

語学講師(L.I.) PEO, Jared
 (専攻分野:Teaching, Learning and Teacher Education)

語学講師(L.I.) 趙 偵宇
 (専攻分野:中国清末民初文学、台湾植民地期文学)

語学講師(L.I.) MAYORAL MUÑOZ, Miguel Ángel
 (専攻分野:スペイン語教育学)

語学講師(L.I.) KOISEGG, Karl
 (専攻分野:英語教育)

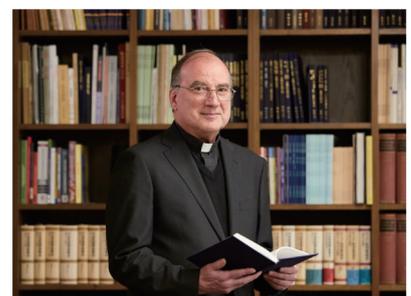
●南山宗教文化研究所/人文学部
 教授 FONGARO, Enrico
 (専攻分野:西洋哲学、日本哲学、美学)

●ハラスメント相談室
 特任准教授 野田裕美子
 (専攻分野:臨床心理学、認知行動療法・心理検査法)

特任講師 長谷川美佳
 (専攻分野:認知神経心理学、発達心理学)

南山大学博士後期課程奨学支援募金のご協力をお願い

大学院博士後期課程への進学者は減少傾向にあります。在学中の経済的負担を考え、進学を断念する学生も少なからずいます。こうした状況をふまえ、南山大学では、進学を考えている方々への一助となるよう「大学院博士後期課程奨学支援制度」を創設しました。一定の要件を満たす学生に対して、授業料、施設設備費の半額を減免することで、大学院博士後期課程へ進学する学生を支援いたします。



この奨学支援制度をより充実したものとするため、このたび「南山大学博士後期課程奨学支援募金」を立ち上げ、みなさまからのご支援を広く募ることいたしました。一人でも多くのみなさまに上記の趣旨へご賛同いただき、大学院博士後期課程進学者への温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは南山大学公式Webページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/bokin/PhD/>
 お問い合わせ先: 南山大学広報・募金課 052-832-3113

